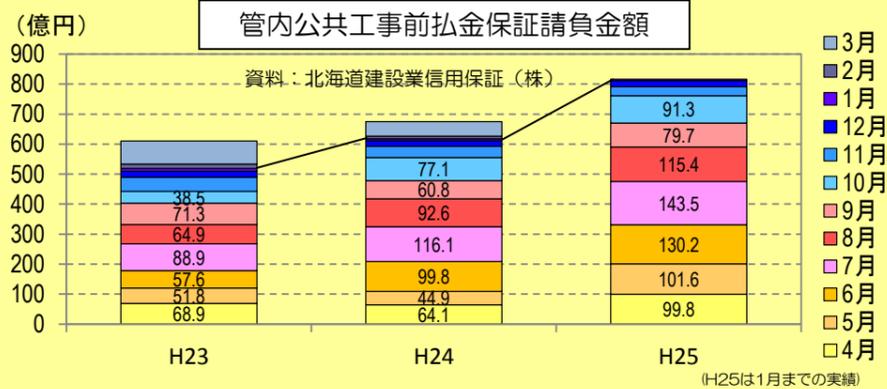


平成26年度予算

景気対策事業

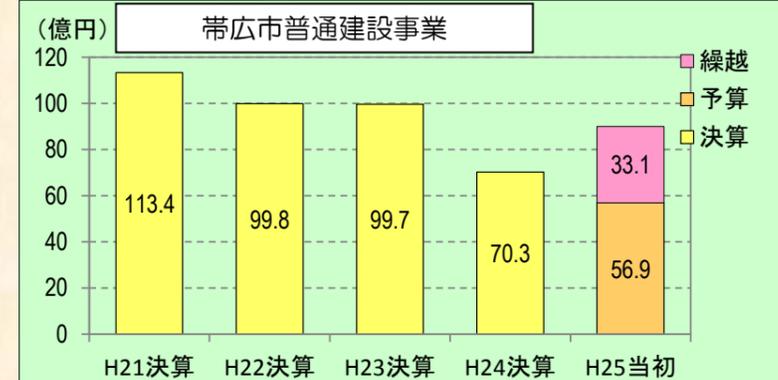
総事業費 4,855,908千円

地域経済の状況



< 日本銀行帯広事務所「十勝の金融経済概況」平成25年12月16日 >
 ◇十勝の景気は、着実に持ち直している。
 ◇公共投資は、強めの動きとなっている。

< 財務省帯広財務事務所「とちかち経済情報」平成25年11月 >
 ◇管内経済は、緩やかに持ち直している。
 ◇公共事業を前払金保証請負金額でみると、河川・道路を中心に発注が増加しており、前年度累計を大幅に上回っている。



景気対策事業の目的

長引くデフレからの早期脱却と経済再生を図るため、内閣が進める「金融政策」「財政政策」「成長戦略」のいわゆる「三本の矢」の政策の効果もあってか、景気は着実に持ち直しているものの、景気回復の実感、地域経済や中小企業・小規模事業者には未だ十分浸透していない。

また、平成26年4月1日からの消費税率の引き上げにより、駆け込み需要とその反動減が予想され、景気の下振れも懸念されることから、引き続き一定規模の公共事業や雇用対策事業が必要であると判断し、右の点に配慮しながら景気対策を実施するもの。

1. 国の好循環実現のための経済対策に基づく事業を積極的に活用しながら、地域経済の活性化、雇用の確保、受注機会の拡大のため、必要性の高い事業を拡充するとともに、事業者の規模に配慮した上で発注を行う。
2. 間断ない発注を行うため、前年度の3月補正予算において債務負担行為を設定し、工事発注を前倒しするほか、工事の閑散期となる冬期間の業務発注にも配慮する。
3. 環境モデル都市として、環境にもひとにもやさしい生活環境づくりを図る。

●国の好循環実現のための経済対策の活用 事業費計：3,803,757千円

【ハード事業】

- 農業基盤整備 事業費：200千円
- 農業生産体制強化 事業費：462,301千円
- 公園整備 事業費：16,000千円
- 第八中学校トイレ改修 事業費：75,456千円
- 新学校給食調理場整備 事業費：2,440,501千円
- 下水道浸水対策 事業費：45,900千円

【ソフト事業】

- がん検診事業 事業費：17,938千円
- 自殺予防対策事業 事業費：805千円
- 簡素な給付措置事業 事業費：530,806千円
- 子育て世帯に対する臨時特例給付措置事業 事業費：213,850千円

(一部、3月補正予算計上、繰越)

●規模に配慮した発注 事業費計：358,738千円

【大規模】

- 生活基盤整備 事業費：66,500千円
・特殊舗装整備、オーバーレイ、側溝整備
- 公共施設耐震化 事業費：215,506千円
・児童保育センター(青葉、大空、清川)
・福祉センター(光南、西、北栄)

【中規模】

- 公共施設の改修 事業費：38,632千円
・小学校、へき地保育所

【小規模】

- 小規模営繕 事業費：17,000千円
・小中学校、保育所、へき地保育所、児童保育センター、コミュニティセンター
- 交通安全啓発看板設置 事業費：1,100千円
- 住宅リフォーム助成金 事業費：20,000千円

●発注時期の配慮 事業費計：593,300千円

- 早期発注(債務負担行為設定) 事業費：580,500千円
・生活道路整備、特殊舗装整備、旧農業センター解体、配水管整備、下水道管渠整備
- 冬期間の発注 事業費：12,800千円
・河川木、街路樹の剪定、下枝処理
・公園樹木下枝処理等

●雇用の確保(一部再掲) 事業費計：76,942千円

- 緊急雇用創出推進事業 事業費：20,469千円
・2事業、雇用人数 5人
- 季節労働者等対策 事業費：56,473千円
・21事業、雇用人数 163人
(うち2事業11,800千円は冬期間の発注事業の再掲)

●環境への配慮 事業費計：34,971千円

- 第四中学校ボイラー改修 事業費：34,971千円

